

家畜保健衛生所情報

令和5年5月26日

牛ボツリヌス症に注意しましょう

全国で散発的に発生がみられる牛ボツリヌス症について、日頃から飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、正しい知識をもって疾病の発生を予防しましょう。

【ボツリヌス症とは】

ボツリヌス菌が産生した毒素により発症する病気です。

【発生の原因】

カラスなどの野鳥の糞便等で汚染されたり、変敗した飼料などの摂取が原因となります。

*牛の消化管内で菌が増殖し毒素を産生する「感染型」と、飼料中で菌が増殖し毒素を産生する「食中毒型」があります。

野鳥等による汚染



変敗した飼料

【症状】

起立不能、食欲不振、流涎（よだれ）、舌麻痺（舌の下垂）、呼吸困難（腹式呼吸）などがみられます。

また、発症すると致死率が高いことが特徴です。



起立不能



流涎



舌麻痺

毒素を摂取してから、発症までには数日程度かかることが多いですが、毒素の摂取量によっては数時間で発症・急死することもあります。

裏面もご確認ください

【対策】

本疾病に対する有効な治療法はありません。

発生予防には、清掃・消毒の励行や飼料汚染の防止、野生動物侵入への対策といった基本的な飼養衛生管理の徹底が重要で、そのほかに変敗した飼料は給与しないことや、ワクチン接種も有効です。

飼料汚染の防止



牛舎内への野生動物侵入の防止



ボツリヌス菌に有効な消毒薬

- 塩素系
- ヨード系
- アルデヒド系

なお、本疾病に関する詳しい情報は、下記ホームページについてもご確認ください。

<家畜疾病図鑑 Web（農研機構）>

https://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_dictionary/other/o03.html



本情報に関するお問い合わせ及び通報先は

大阪府家畜保健衛生所

〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1-59

TEL：072-458-1151 FAX：072-458-1152
